

いちのしんでん 市野新田ダム定礎式を挙行

北陸農政局柏崎周辺農業水利事業所

11月3日（木）、北陸農政局柏崎周辺農業水利事業所は、柏崎市の市野新田ダム建設現場において、市野新田ダム定礎式を挙行しました。本ダムは本事業で造成される3つのダムの一つで、有効貯水量160万 m^3 、受益面積970haの傾斜遮水型ゾーンフィルダムです。式典には、来賓として室本農村振興局次長を始め、石川新潟県農地部長、会田柏崎市長、品田刈羽村長、地元関係者、主催者として印藤北陸農政局長など約130名が出席しました。

始めに、印藤北陸農政局長より「市野新田ダムは柏崎刈羽地域の農業の発展に寄与すると確信している。農林水産省最後の新設ダムとして技術力を結集した最新鋭のダムである」と式辞を述べた後、室本農村振興局次長から「儲かる農業を実践するために土地改良事業を実施していくことを強く位置づけ、このため安定的な用水供給が必要不可欠。ダムの早期完成を目指す」とあいさつに続き、会田柏崎市長から「効率・公正な水配分ができるようになり、安定した農業経営の道筋が見えてきた」と謝辞を頂きました。

定礎石は、小林前北陸農政局長により揮毫され、本ダムの有効貯水量にちなみ160kgの黒御影石できており、事業所職員と施工業者に担がれ、木遣り歌に合わせて運び込まれました。ダム基礎部に搬入された定礎石は、来賓らにより厳粛に埋納されました。式典の最後には、くす玉が地元の方々によって開披され、柏崎地域を潤す市野新田ダムの完成を祈願しました。

市野新田ダムは今後堤体の盛立を実施し、平成30年度に試験湛水、平成31年度に供用開始を予定しています。



印藤北陸農政局長 式辞



室本農村振興局次長 あいさつ



木遣り歌に合わせて礎石搬入



来賓によるコア材の投入



地元くす玉開披